



公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

NEWSaka

2017.6
No.20

発行責任者：坂総合病院院長 内藤 孝



「第11回大規模 災害訓練2017」 実施

- ①エアーストレッチャー初投入
- ②緊迫の災害対策本部
- ③次々と負傷者が
- ④黄色ブース（リハ室）
- ⑤緑ブース（紹介外来前）
- ⑥赤ブース（救急室）

* 2ページに関連記事掲載

- 1 大規模災害実働訓練実施
- 2 第11回大規模災害実働訓練（4/27）
- 3 市民公開講座（5/20）
- 4 赴任医師のご紹介 浅野俊一郎医師（眼科）
- 5 職場紹介（5階病棟）、食養室管理栄養士から（13回目）
- 6 助けてくれてありがとう！
通りかかりの運転手さんと高校生の行動で無事保護、
シリーズ12回目リハビリ室のお仕事
- 7 外来診療案内
- 8 インフォメーションなど

病院理念

わたしたちは、患者さまの権利を尊重し、
共感・協同・平等・安全の
医療をめざします。



「多数傷病者受け入れ、情報伝達・集約・共有方法(日勤帯版)」検証

ムラージュづくり

4月27日(木)の午後、170名以上が参加し「大規模災害訓練」が実施されました。今回も塩釜地区消防事務組合にご協力いただきました。

訓練目的

訓練目的は①本部内の情報の流れ・管理・共有方法の検証。②情報伝達・共有方法(トランシーバー使用、メッセージャー)の検証。③患者情報の集約・共有方法の検証。④エリアリーダーのスキルアップでした。

設定は日勤帯想定

「14時、宮城県沖でマグニチュード9.0の巨大地震発生。塩釜地区で震度7の激しい揺れが観測され、大津波警報発令。傷病者、低体温症の患者が多数発生し、当院に押し寄せてくる可能性がある。」という想定。

模擬患者役の新入職員約40名は事前に病院2階教育センターに集合し、先輩職員に援助してもらい「ムラージュ(模擬患者特殊メイク)」づくり。

訓練開始

14時訓練開始。1分ほど地震の揺れを想定したアナウンス。

地震発生 of 災害モード発動・全館緊急放送。セミナー室に対策本部設置。正面玄関にトリアージポスト設営。院内被災状況確認、情報集約、入院患者対応、外来患者避難誘導、館内負傷者、帰宅待機者対応がされていきます。



災害対策本部の各担当者が動く

まもなく救急車搬送の負傷者や多数の被災者が次々と来院し一次トリアージ開始。各エリアで治療が行なわれます。容態変化への対処、応援要請、医薬品調達など本部と各エリアとの緊張したやりとりが間断なくあり、トランシーバーやメッセージャーを走らせ対応。

15時20分訓練終了。本部・エリアごとに反省会が行なわれました。

全体会

1階フロアで全体会が行なわれました。

はじめに、県内外の病院や自治体関係者など見学者約20名の方々の紹介がされました。

「講評」



赤石隆先生が講評

○赤石隆先生(赤石病院)

『郷古先生は塩釜地域災害医療コーディネーターを務めている。有事の際には坂病院は保健所やDMATとの連携など、より複雑な運営事情になると思われる。そういった連携も考えて訓練ができればよりよいものになるだろうと思う。これからもぜひ訓練を継続的に続けてください。』と述べられました。

○塩釜地区消防本部



塩釜消防本部の講評

『本部機能が充実しており全体での情報共有方法が大変良かった。トリアージも的確だった。今後も災害拠点病院として地域の諸機関と連携して奮闘してほしい。』と述べられました。

○伊良波禎先生(沖縄協同病院)



伊良波禎先生が講評

『当院でも数年前から災害訓練を始めたが、DMAT中心の訓練でとどまっています。坂病院のような全面的な訓練ができることが理想的なことなので見習っていきたい。』と述べられました。

訓練を継続し今後に活かす



内藤院長が総評

最後に、内藤孝院長が総評と閉会のあいさつをしました。まず、見学者の方々へのお礼の言葉を述べ、続いて『地域の各種機関と協力しながら、今後もまた違った想定 of 訓練など幅を広げ、災害に対する万全の体制を作っていきたい。』と述べ終了しました。

◇テーマ：「いつもの頭痛 気になる頭痛」

5月20日(土)の午前、塩釜市公民館大会議室において、地域の方々約70名が参加し市民公開講座が開催されました。



はじめに、病院を代表して富山陽介副院長があいさつしました。坂病院の医療活動の紹介や、この間の市民公開講座の内容など説明し、『本日の講座でも、ぜひ有意義な時間を過ごしていただければと思います。』と述べました。

■講演①：「気になるあなたへ 頭痛体操！」



リハビリテーション室の小野寺亮太理学療法士が報告しました。まず坂病院のリハ室の概要、職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の説明および活動内容が紹介されました。そして、急性期病院としてのリハビリの役割、なぜ短い入院期間で退院を目指すのか(入院の長期化で、身体的・精神的低下が生じる可能性があるため)、入院の短期化は体に与えるリスクを軽減することなど説明し、いろいろな頭痛の種類(危険な頭痛、慢性頭痛)の症状について報告されました。

そして、頭痛体操の効用が説明されました。「共通しているのは『首』」として、頭痛体操は片頭痛の予防、緊張型頭痛の緩和に効果があること、頭痛体操のコツとしては、首を動かさないこと、明るくポジティブな気持ちで行なう事が大切であると述べ、実際に参加者全員で2種類の体操(肩を回す体操、



熱心に聴く参加者

腕を振る体操)を体験しました。

また、頭痛体操以外にもできる頭痛解消法として、正しい姿勢、作業中のこまめな「姿勢解除」、首や肩を冷やさない、ぬるめのお風呂にゆっくり入る、日常的な運動(ウォーキングなど)の紹介もありました。

■講演②「いつもの頭痛 気になる頭痛」



川瀬誠医師(脳神経外科科長、脳卒中専門医)が報告しました。①頭痛の基礎知識、②気になる頭痛の見分け方、③いつもの頭痛の治療法、について報告されました。まず、1次性頭痛(頭痛の発生が病変に起因しない頭痛)と2次性頭痛(何らかの病変のため発生する頭痛)の説明がされました。

頭痛の原因として①血管(片頭痛)、②筋肉(緊張性頭痛)、③硬膜(くも膜下出血など)、④その他、を挙げました。

次に、気になる頭痛の見分け方として、次の9つの症状(突然の頭痛、今まで経験したことのない頭痛、いつもと様子が異なる頭痛、頻度と程度が増していく頭痛、50歳以降に初発の頭痛、神経脱落症を有する頭痛、癌や免疫不全の病態を有する患者の頭痛、精神症状を有する患者の頭痛、発熱・項部硬直・髄膜刺激症状を有する頭痛)については、2次性頭痛を疑って精査が必要である旨話されました。さらに、頭痛と関連する脳の様々な病気の症状等について説明されました。

救急外来での頭痛診察について述べ、詳細な頭痛の症状の聴取、既往歴・現病歴をしつこく聴く、そして検査、さらには薬物療法などの紹介がありました。最後に、自己判断しないで、我慢せずおかしいと思ったら、きちんと受診することの大切さが強調されました。参加者との質疑応答もありました。



全員で頭痛体操実践

赴任医師のご紹介



浅野俊一郎 医師

あさの しゅんいちろう

眼科科長

・専門分野～白内障、眼瞼下垂、
内皮症、網膜硝子体疾患
・資格～眼科専門医、臨床研修指導医、
ボトックス認定医、CTR認定医

●赴任にあたってのごあいさつ

2017年4月、磐城共立病院より坂総合病院の眼科に赴任いたしました浅野俊一郎（あさのしゅんいちろう）と申します。白石市生まれ、仙台一高、2008年岩手医大卒業後、東北労災病院で初期研修修了し、東北大学眼科に入局、後期研修、その後気仙沼市立病院、山形市立病院済生館、いわき市立総合磐城共立病院（科長）を経て現職に至ります。

○得意分野

外来では主に眼科一般の診療を行ないます。過去の手術実績は白内障手術（約1800件）、翼状片術、外眼部疾患（眼瞼内反症、眼瞼下垂）合わせて約100件、硝子体手術（増殖糖尿病網膜症、網膜剥離など約100件）です。

○当院における今後の取り組み

これまで当院には常勤の眼科医が数年間不在で、東北大学病院眼科から応援という形で外来診療、日帰り白内障手術を行なっていました。私が着任するに当たり、白内障手術件数の増加、外眼部手術（翼状片、眼瞼下垂、眼瞼内反症など）行なっていきたいと存じます。網膜硝子体疾患に関しましては、加齢黄斑変性症、糖尿病性黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症に抗VEGF薬の硝子体注射や網膜光凝固などの治療を午後に行なっております。

白内障手術は現在、月曜日週一回日帰り東北大学病院より助手の先生の応援をいただいておりますが、今後、眼科の病床を確保できましたら入院での手術も可能に

なり、手術日、手術件数の増加も検討しております。

網膜剥離や増殖糖尿病網膜症などの硝子体手術に関しましては手術機械が揃っていないため、東北医科薬科大学病院、東北大学病院などにご紹介いたします。角膜疾患や手術が必要な緑内障、ステロイドパルス治療が必要な疾患の患者様に関しましては東北大学病院の専門外来にご紹介いたします。

当院は糖尿病の患者様が多いので、眼底検査による糖尿病網膜症の早期発見・治療に力を入れていきたいと存じます。

○地域の先生方へのお願い

ご紹介に関しましては、月～金曜日と第1、3土曜日は9：00～10：30、火曜日のみ13：30～15：00新患を受け付けております。お気軽にご紹介下さい。万が一緊急性のある患者様の紹介のご相談に関しましてはお電話をいただければ幸いです。

また、当院に通院中の患者様で近隣のご開業の眼科に通院希望の方がいらっしゃれば、紹介状をお書きしご紹介いたします。

この地域の患者様に少しでもお役に立てるように精進してまいりますので、今後何卒よろしくごお願い申し上げます。





5階病棟スタッフのみなさん

5階病棟についてご紹介します。5階病棟は、ベッド数46床で診療科6科の外科系混合病棟です。診療科は、脳神経外科・救急科・婦人科・整形外科・形成外科・総合診療科となっており、それ以外でもベッドが空いている時には内科の患者様も入院される病棟になっています。診療科が多いため、老若男女様々な患者様が入院される病棟です。

病棟に入院される主な疾患については、脳梗塞・

脳出血・硬膜下血腫、薬物中毒・痙攣発作、大腿骨頸部骨折、腰や胸の圧迫骨折など救急で来院される患者様がほとんどです。その他、婦人科では子宮筋腫や卵巣嚢腫など、形成外科では手根管症候群や腫瘍切除などの手術を予定され入院される患者様が多い病棟です。

スタッフは、医師18名、看護師26名、助手3名、クラーク1名で日々勤務しています。その他にも、病棟担当のソーシャルワーカーや薬剤師、リハビリスタッフ、病棟マネージャーと共に、

患者様の1日も早い回復を願い、安心して入院生活を過ごして頂けるよう安全に心掛けて日々ケアに取り組んでいます。また、退院後の生活についても安心して過ごせるように、入院した時からご家族・医師・看護師・ソーシャルワーカーなどと共に退院に向けての調整を行なっています。今後更に、患者様・ご家族が安心して退院する事ができますように、スタッフ全員で取り組んで参りたいと思っています。

坂総合病院食養室 管理栄養士から

管理栄養士 鈴木 亜紀

第十三回

抗酸化作用とビタミン



ビタミンには、体の器官の機能を維持したり、体に悪影響を与えるものと闘ったりするものが多くあります。今回はその中から、「抗酸化作用」という言葉に深く関わりのある、ビタミンCとビタミンEについて紹介します。

抗酸化作用とは？

抗酸化作用とは、体内にある活性酸素という物質の反応を適度に抑えるはたらきの事で、ビタミンCとビタミンEをとる事でそのはたらきを助ける事に繋がり、活性酸素が過剰に反応する事で起きる様々な体への影響を適度に抑える事が出来ます。ビタミンCは細胞の外で働き、ビタミンEにはたらきかけて抗酸化作用を助けます。ですので、**ビタミンCとビタミンEを一緒にとる事で、相乗効果が期待出来るのです。**

ビタミンCについて



ビタミンCは水溶性のビタミンなので、食材をゆでたり煮たりする事で、ゆで汁や煮汁に溶け出してしまいます。食品に含まれるビタミンCを残さずとりたい時は、**そのまま生で食べたり、汁ごと食べられるスープで食べてみてはいかがでしょうか。**

ビタミンEについて



ビタミンEは脂溶性のビタミンなので、ゆでたり煮たりしても溶け出しにくく、加熱しても壊れにくい性質を持っています。食品に含まれるビタミンEを残さずとりたい時は、**油を使った炒め物や脂質を多く含む食品と一緒に食べてみてはいかがでしょうか。**

助けてくれてありがとう！

通りかかりの運転手さんと 高校生の行動で無事保護



患者様相談室 川村 淳二

5月中旬の朝7時20分頃、車で高齢者が当院に運ばれてきました。下馬4丁目の路上で、蹲っていたそうです。たまたま通りかかった人と高校生が車で病院へつれてきてくれました。女性を降ろした後、運転手さんは出勤し、同乗の高校生は病院に残ってくれました。

高齢者に外傷はありませんが、認知症なのか、全く声を出せず身振り手振りだけで、氏名や住所は判りませんでした。ただ、サンダルにGPS機能の発信機が付いていました。

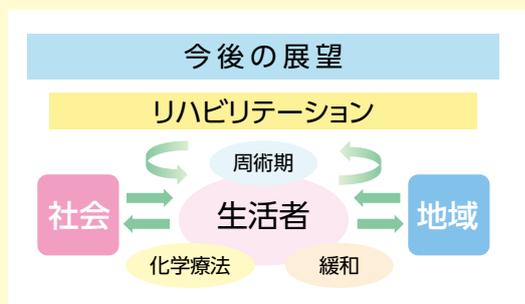
高校生は、高齢者の身元が判明できるか心配していましたが、通学途中なので、発見時の状況を伝えてから登校しました。

警察に電話しますと、ちょうど高齢者を捜索中でしたが、服装の特徴が違い別人でした。当院の認知症専門看護師が確認するも当院かかりつけとも判明できませんでした。

そのうち警察から電話があり、家族から警察に連絡があり、GPSで位置確認し病院へ向かっているとのこと。その後、警察、高齢者のケアマネさん、息子さんが来院し無事帰宅。付き添って来てくれた高校生の学校に電話で事情を説明し、身元が判明し無事帰宅した旨を伝えました。

息子さんは7時頃に出勤するも、GPSで自宅に母親がいないことが分かり警察へ連絡。母親は毎日デイケアに通っており、送迎スタッフが自宅に迎えに行った時には既に不在で、近所の方が「知らない車に乗って行った」と言ったため行方不明を認識した模様。

通りかかった運転手さんと女子高校生の行動で無事保護された一件でした。地域の方の優しさに感謝します。



シリーズ
さまざまなリハビリテーション

第12回 術前評価について
〈CGA評価の取り組み〉

外科・消化器科チーム
リハビリテーション主任
理学療法士 工藤 美喜

今回は手術前にリハビリが行なっている評価についてご説明します。

2015年度からの取り組みとして、当院外科の先生よりお話しを頂き2015年6月から高齢者の手術判定を目的に「高齢者総合機能評価（以下CGA）」を実施しております。

対象は当院外科にて全身麻酔手術予定の75歳以上全症例で入院手術前に理学療法士・作業療法士が身体機能評価に加えCGA評価を実施します。

評価内容は①日常生活活動評価②手段の日常生活活動尺度③意欲の評価④認知機能検査⑤老年期うつ評価尺度を質問紙にて実施します。

CGA評価を実施することで身体機能面に加え、個々の高齢者の背景因子がより具体化され身体機能・生活機能を把握することで術後早期からの適切な介入・退院支援に取り組んでいます。

リハビリテーションは身体機能と生活機能を総合的に支援できる職種です。がん患者の方々地域で生活するうえでその生活を支えるという視点で病院から在宅、地域、社会までリハビリが関わられる、活用できる場が広がっていきリハビリが浸透していくこと、一助となることを期待しています。



外 来 診 療 案 内

2017年6月

坂総合病院（本院）

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	午前	○				○		
	午後					○		
神経内科	午後	○						
消化器科	午前	○	○	○	○	○		
	午後		○			○		
緩和ケア科	午前				○			
	午後	○						
リハビリテーション科	午前		○	○	○	○		
	午後	○						
末梢血管外来	午前	○	○					
甲状腺外来	午後		○診療日隔週					

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承願います。

総合病院 院長 内藤 孝 電話 022-365-5175(代)

坂総合クリニック1号館

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
外科	午前	○	○	○	○	○		
腎臓内科	午前			○				
整形外科	午前	○	○	○				
	午後	○		○				
泌尿器科	午前	○	○		○	○		○診療日隔週
形成外科	午前	○		○				○診療日隔週
	午後		○			○		
耳鼻咽喉科	午後	受付13:00～16:00		受付13:00～16:00			受付8:30～11:30	
産婦人科	午前	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診 ○11:30迄	妊婦健診 ○	妊婦健診～11:30迄 ○	○	
	午後	○ 妊婦健診				妊婦健診		
精神神経科	午前	○	○	○	○	○		○診療日6/17予定
	午後			○		○		
眼科	午前	○	○	○	○	○		○診療日隔週
	午後							
皮膚科※	午前		○			○		○診療日隔週
	午後		○14:30～16:00			○14:30～16:00		
血液科	午後		○			○		
禁煙外来	午後			○診療日隔週				
＜各科外来受付時間＞		●午前 新患8:30～11:30 再来8:30～11:30		●午後 予約制となっています				
※皮膚科の診療は医師体制上の都合により、予約外の方は緊急性のある方以外はお受けできません。ご了承下さい。								

坂総合クリニック2号館

※内科一般外来は午前からのみの診療となります（午後は休診となります）。

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後							
糖尿病代謝科	午前	○	○	○		○		○診療日隔週
	午後	○	○		夜間外来（隔週）			
循環器科	午前	○	○	○	○			○月1回
	午後		○			ペースメーカー外来 診療日隔週		
呼吸器科	午前	○		○		○		○月1回
	午後	○	○	○		○		
緩和ケア科	午前		○		○			
漢方科	午前	○	△	△		○		○月2回
	午後	○	△	△	△夜間外来	○		
高脂血症外来	午前			○				
心臓血管外科	午後			○		○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後			育児検診				
		予防接種 受付 13:30～14:30						

●当院の外来は全面予約制ですので、来院前にお電話下さい。漢方は診療変更が多い日を△にしています。

電話番号：予約コールセンター 022-361-8288

電話予約受付時間：平日8:30（小児科のみ8:00から開始）～16:30、土曜日8:30（小児科のみ8:00から開始）～11:30

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承願います。

坂総合クリニック 所長 高橋 洋 電話 022-361-7011(代)

市民公開講座ご案内

坂 SAKA 総合病院
もっと知りたい
女性の更年期とがん
***** 市民公開講座 *****



～女性の更年期と特有の病気～

参加費 **無料**
 [日時] 2017年 7月8日(土) AM10:00～AM11:30
 [会場] 多賀城市市民活動サポートセンター大会議室 (多賀城市中央二丁目25-3)
 [駐車場] 敷地内か多賀城文化センターの駐車場をご利用ください

第1部 生活習慣病 予防のために
健康管理室 保健師 佐藤 知佳子

第2部 女性の更年期と 特有の病気
産婦人科医師 片平 敦子

健康増進や病気予防に興味がある方なただでも、申込不要です

地図

主催・お問い合わせ
TEL 022-365-5175 (平日:9:00～17:00)
主催 公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院

地域医療連携センターから

○紹介の状況

	紹介数	逆紹介数
2017年1月	502	806
2月	531	754
3月	609	924
4月	535	686

(坂総合病院、クリニックの合計数です)

○ご紹介の際は、地域医療連携センターまでご連絡下さい。
 ※坂総合病院・坂総合クリニックは予約診療を行なっています。お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせ下さい。
 尚、緊急性の高い症状の場合や入院加療も含めての診療ご依頼の場合は、お電話にてその旨をお知らせ下さい。

《開設時間》

- 平日 / 8時30分～17時
 - 土曜日 / 8時30分～12時30分
- TEL 022-361-4700**
 ※時間外休日は、救急処置室に繋がります。

コールセンターから

○診療の予約・変更・お問い合わせは、コールセンターで承ります。

TEL 022-361-8288

平日(月～金) : 8時30分～16時30分
 (小児科のみ8時から開始)

土曜日 : 8時30分～11時30分
 (小児科のみ8時から開始)

※紹介状をお持ちの方は必ずその旨をお伝え下さい。
 ※上記時間以外で救急診療のお問い合わせは、病院代表番号にお電話をお願いします。



- 電車をご利用の場合
JR仙石線・下馬駅下車 (駅前が病院です。)
- お車をご利用の場合
以前に比べて第一駐車場が狭くなりました。ご不便をお掛けしますが、第三駐車場に駐車し、送迎バスをご利用いただけるようご協力をお願いいたします。

編集後記

初夏を迎え、新緑がまぶしいくらいの美しい季節となってきました。色とりどりの花々が目立っています。今号では、東日本大震災前から継続してきた大規模災害に備え実施してきた実働訓練の様子はじめ、様々な病院の取り組みを紹介させていただきました。さて、平和関連では広島・長崎での原水爆禁止世界大会成功に向け「2017年原水爆禁止国民平和大行進」が、松島・塩釜～多賀城コースが6月21～22日実施の予定です。坂病院の前も行進します。坂病院からも世界大会へ代表が参加します。署名等ご協力をお願いします。多くの人と連帯し、一刻も早く核兵器のない世界になるよう願うものです。(1)

公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5
 電話 022-365-5175 (代表)
 FAX 022-365-3620
<http://www.m-kousei.com/saka/>

